

NO.1360

4月3日号

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二一四四五八
F 四三二一四四五七

第一回定例会から

民間委託しない

体制づくりを

学校給食 調理場の集約化

昨年度、議論が足りない。一度立ち止まって議論すべきと否決された集約化。どこがどう変わったのか、質問しました。



予算特別委員会
村樫議員

代表質問(問) 学校給食調理場の集約化ではなく、会計年度任用職員の格差解消をし、調理員不足の解決を。(答) 調理等業務の委託は現時点で計画はない。

集約化により大規模調理場での新人への指導や調理員への研修を継続して、人材育成と定着を図りたい。

退職者不補充を見直さないと、問題は解決しない。

委託しないと云うが...

予算審査(問) 調理員不足の危機は、退職者不補充という行革によるものだ。いずれ、正職員が居なくなり、民間委託を検討していたはずだ。今回、民間委託しないと云うが、行革の方針を変えるということか?(答) 方針は変えない。

(問) 正職員を入れないでどうやって直営で給食をつくるのか。

会計年度任用職員だけでも直営は続ける

(答) 会計年度任用職員も市の職員。会計年度任用職員だけでも直営でつくる考えだ。



直営で行うと言うなら、待遇改善を検討すべき!

反対討論 給食調理員の待遇改善は変わらず、ジェンダー平等から遠く離れた女性蔑視だ。根本的な問題は解決していない。

集約化の前に、会計年度任用職員の賃金の引上げを行い、働き続けられる安定した職場にしていくべき。

民間委託をしないというのであれば、正職員を増やすことや会計年度任用職員の中でも責任ある立場にある職員の給料の引き上げや主任手当など待遇改善を検討すべき。



第1回定例会(予算議会)が22日に閉会しました。今年の3月議会は、議会を開会して間もなくして、新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者になったと保健所から連絡があり、8日(14日まで)一週間自粛するよう指導があり、議会を休み自粛生活をしていました。15日から議会に復帰し、連日深夜まで翌日の質問準備をしたこともあり、いつもの議会より疲れが出たような気がしました。

議会が終わり冷静に振り返って見るとコロナの濃厚接触者になったことから始まり、自粛生活中は、家で議会のユーチューブ中継を見ているしかなく、ストレスや新電力会社の問題、ごみ問題、学校給食問題と色々あり過ぎたこともあり長く感じたのかもかもしれません。濃厚接触者になり保健所や市の関係者のみなさんや議会の関係者のみなさんのご協力には心から感謝するばかりです。ありがとうございました。



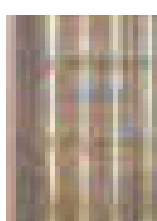
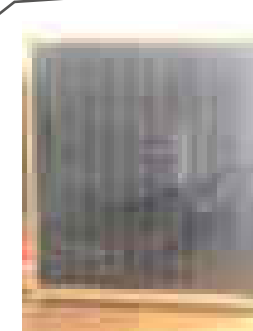
令和4年度が始まりました。CO2排出ゼロ

に向け、網走市も「地域の温暖化防止実行計画」を策定し、網走市の地域全体でCO2排出量を何年までに何%減らすかの目標を立てることになります。

脱炭素社会の実現は生活水準の悪化でも耐乏生活を強いるものでも、経済を停滞させるものでもありません。新しい雇用を生み出し、地域経済を活性化、持続可能な成長の大きな可能性を秘めています。

私は、CO2削減のため、空き缶を黒スプレーで着色し、部屋の空気を温める「ソーラーウォール作り」に少しだけ、はまっています。

作ってみませんか。



流水

『戦争反対!!』ロシアプーチン政権によるウクライナ侵略軍事行動に世界中から「戦争を止めよプーチン」「ロシアはウクライナから出て行け」「ウクライナを救え」と抗議行動が続いている。テレビでは連日爆撃の映像が流れ、悲惨な現状に心が痛む。一刻も早く戦争を止めこれ以上の犠牲者を出さぬようエコセン前での抗議行動には多数の市民が参加した▼岸田首相は「出口がはつきり見えてきた」と、21日まん延防止を解除した。

第6波は過去最高の感染者、死亡者は8千人を超え最悪の状況だった。岸田首相の甘い見通しに専門家から「第6波はこのまま収まるとは思えない。警戒は欠かせない3回のワクチン接種も感染する、重症にならないだけ」、3回目の接種も遅れていると指摘する。3回の接種を終えた韓国ではPCR検査で60万人を超える感染者が発生、中国でも感染者が広がっている▼日曜日、地元のスーパの混雑状況には驚いた。新聞は道民割のキャンペーン、全国各地観光宣伝と人の移動による感染再拡大は「大丈夫!」▼まん延防止時の図書館通い、本を乱読すれば、又、旅への虫が騒ぐ!!庭では花の芽が春の陽の光に目を覚ます。遅い春に今日も黄金の輝きを探して天都山へ向う。

アスリート爺